



# 県北高校生サミット開催!!

## ～多賀高校生徒会が主催校として活躍～

文部科学省主催の主権者教育実践校として多賀高校が選ばれ、多賀高校生徒会が主催となって、県北地区の 10 校の生徒が集い「よりよい学校づくり」について意見を交わしました。

2025年(令和7年)11月21日 金曜日

### 「よりよい学校」探る 県北10高の生徒が議論

日立

県北の高校10校の生徒がテーマに基づいて議論を交わす県北高校生サミットが13日、日立市役所で行われた。主権者教育の一環で、各校代表の生徒会役員ら計40人が参加。ワークショップ形式で、「よりよい学校づくり」について意見を交わした。校則の見直しや学校の課題への理解を深めた。

#### 主権者意識を醸成

主体的に社会参画する主権者・消費者を育てる実践事業として開催。今後3カ年にわたって生徒たちの主権者意識の醸成や実践に取り組む。文部科学省の主権者教育実践校に県内では県立多賀高が選ばれているのを機に、初年度にサミットを開いた。

参加したのは、多賀高のほか、県立の日立北、日立二、日立南、磯原郷英、高萩、高萩清松、太田一、太田西山、私立の明秀日立の計10校。

生徒たちは日立市議会の本会議場や委員会室で、茨城大生の進行や助言を受けながら議論を進めた。よりよい学校づくりの実現に必要な段階として、多様な項目を設けて話した。

校則については、学校によって内容が異なり、「ずっと前のまま見直されてお

らず、なぜこの校則があるのか解決できていない」「生徒が自分たちでルールを考えてみては」などの声があった。具体的に何を考えたのかについても意見を出し合い、「男女差や上下関係なく発言し、個性を出せる環境づくり」「行事が多く楽しく交流できるようにする」「いじめ・差別のない学校」などを提言した。実現への手段として生徒アンケートの実施も挙げた。

と講評した。日立北高の友部夏妃さん(17)と新井友愛さん(16)は「校則一つ変えるにも目標を立てて行動していく大切さを知った。学校でも実践できれば」と感想を話した。

(綿引正雄)

2025年11月21日(金)付け茨城新聞



「The personal is political」～個人的なことは社会のこと～  
生徒の皆さんの経験は、社会とつながっています。  
みんなが声を上げ、話し合うことで社会を少しずつ変えていくことができると思います。  
学校が変われば、社会が変わると信じてもいいのではないのでしょうか。